

2022 年度 事業計画

[1] 福祉会の実施事業について

よさみ野福祉会として、現在実施、および新年度にて実施予定の事業は以下の通りとなる。

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 障害福祉サービス 生活介護 | 2 障害福祉サービス 共同生活援助 |
| 3 障害福祉サービス 短期入所 | 4 障害福祉サービス 特定計画相談事業 |
| 5 行事等の開催あるいは参加 | 6 実習・ボランティア等受入 |

[2] 生活介護事業について

- | | | | |
|-----------------|---------------------|--|---------|
| 1 実施場所(2か所) | よさみ野障害者作業所 (定員30) | | |
| | 第2よさみ野障害者作業所 (定員15) | | |
| 2 定員および利用実績について | (a) 定員 | | 45 名 |
| | (b) 利用者数 | | 42 名 |
| | (c) 開所予定日数 | | 255 日 |
| | (d) 延利用者数(見込) | | 10134 人 |
| | (e) 平均出席率 | | 95 % |
| | (f) 平均障害程度区分 | | 5.2 |

[3] 共同生活援助事業について

- | | | | |
|-----------------|---------------|--------|----------|
| 1 実施場所(3か所) | ぼむ (定員5) | | |
| | こりす (定員4) | | |
| | らんぷ (定員4) | | |
| 2 定員および利用実績について | (a) 定員 | | 13 名 |
| | (b) 利用者数 | | 13 名 |
| | (c) 開所日数 | | 365 日 |
| | (d) 延利用者数(見込) | | 4079 人 |
| | | (内 ぼむ | 1524 人) |
| | | (内 こりす | 1377 人) |
| | | (内 らんぷ | 1178 人) |
| | (e) 平均利用率 | | 86.59 % |
| | | (内 ぼむ | 83.50 %) |
| | | (内 こりす | 94.31 %) |
| | | (内 らんぷ | 80.68 %) |
| | (f) 平均障害程度区分 | | 4.78 |
| | | (内 ぼむ | 5.20) |
| | | (内 こりす | 4.75) |
| | | (内 らんぷ | 5.00) |

[4] 短期入所事業について

- | | | | |
|--------|-----------|--|-------------|
| 1 実施場所 | らんぷ | | |
| 2 利用見込 | (a) 居室数 | | 4 名 |
| | (b) 開所日数 | | 192 日 (96泊) |
| | (c) 延利用者数 | | 384 名 |

[5] 特定計画相談事業について

1 実施場所 よさみ野障害者作業所

2 利用見込	(a)	利用者数(名簿)	42 名
	(b)	開所日数	255 日
	(c)	延利用者数	240 名
		※利用支援あるいは継続支援の利用回数	
		(内 利用支援	50)
		(内 継続支援	220)
	(d)	加算算定数	320 回

[6] 行事等の開催あるいは参加について

1 行事への参加	5月	山之内連合運動会	7月	なかまの集い
	7月	あいあいあいまつり	10月	バス旅行(主催)
	12月	合同クリスマス会		

コロナ禍の中、開催あるいは参加を見合わせる場合があります。

2 販売(授産)	(a)	区役所販売(毎月 第1・3月曜日)
	(b)	なごみ(毎週木曜日)

コロナ禍の中、開催あるいは参加を見合わせる場合があります。

[7] 実習・ボランティア等受入

1 介護体験実習等(大学生・介護・教職課程)	実習参加者見込	10 名
	延べ実習日数	55 日
2 利用体験実習	実習参加者見込	3 名
	延べ実習日数	10 日

[8] 職員関係

1 雇用職員

管理者 4 名
サービス管理責任者 2 名(管理者と兼務)

(生活介護)		常勤	非常勤	他と兼務
生活支援員	20 名	8	12	4
調理員	2 名		2	
医師	1 名		1	
看護師	1 名		1	

(共同生活援助)		常勤	非常勤	他と兼務
生活支援員	9 名	1	8	3
世話人	5 名		4	1

(短期入所)		常勤	非常勤	他と兼務
生活支援員	2 名	2	0	1

(特定相談支援事業)
相談支援専門員 1 名(管理者と兼務)

2 実施職員研修

年間研修回数	21 回	
延参加人数	51 名	
（新人研修関係	3 回	9 名）
（人権研修関係	3 回	12 名）
（支援研修関係	5 回	10 名）
（実務研修関係	5 回	10 名）
（運営研修関係	5 回	10 名）

コロナ禍の中、開催あるいは参加を見合わせる場合があります。

[9] その他、年度を通して

2020年度にらんぷ（GHおよび短期入所）を開所したものの、2021年度はコロナ禍のために短期入所を休所せざるを得ない事態もありました。2022年度は通年での運営を見込つつも、利用率に関してはいずれの事業も今年度の利用実績をもとにしており、予算案での事業収入は昨年度予算に比べて若干縮小したのになっています。

また、同様に年間研修および実習受入等についてもコロナの影響を見込み、回数を少なめに見込みました。

コロナ禍にあっても利用者の生活は継続しており、家族との連携はもちろん、グループホームでの支援が非常に大事な意味を持つようになってきています。今後とも、利用者の生活を守るためのサービスの提供に力を入れていく必要があるでしょう。